

IGNITE YOUR SPIRIT

日本特殊陶業株式会社
第123期中間 株主通信

2022年4月1日から2022年9月30日まで

2023年度に英文社名をNiterrra(ニテラ)へ変更 地球環境全体を輝かせる企業に

株主の皆さまには、平素よりご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

当期の概況

2023年3月期第2四半期は、売上収益2,791億円、営業利益536億円となり、前年同期比で増収増益、売上収益、営業利益ともに過去最高となりました。自動車関連においては車載向け半導体の供給不足や原材料価格の高騰が当社の販売および利益に影響を与えているものの、原材料価格高騰分の価格転嫁や半導体供給不足の一部が改善しており、販売は好調に推移しました。セラミック関連においても半導体需要に対応した積極的な設備投資により、当社販売は堅調に推移しています。こうした好調な販売に加え、為替円安の影響が主な増益背景です。

英文社名変更

当社はこれまで内燃機関向け製品を主軸に、社会の発展とともに存在価値を確立し、ステークホルダーの皆さまと信頼関係を構築してまいりました。そして現在は2020年に策定した「2030年 長期経営計画 日特BX」で示している事業ポートフォリオ転換の実現を目指しています。そのゴールに向けた決意を示す一つ



代表取締役会長

尾堂 真一



代表取締役社長
社長執行役員

川合 尊

の形として2023年度に、英文社名を「NGK SPARK PLUG」から、「Niterrra(ニテラ)」に変更します。Niterrraとは、ラテン語で輝くを意味する「Niteo」と地球を表す「terra」の造語で、「地球環境全体を輝かせる企業となる」という思いを込めています。これからも全社を挙げて行動指針「Change with Will !!」のもと、新たなマインドセットとして“Something New”を意識し、社会的課題の解決に取り組んでまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

Segment Overview セグメント別業績の概要

自動車関連

売上収益 **2,204** 億円

営業利益 **507** 億円

車載向け半導体の供給不足や原材料価格の高騰が当社販売および利益に影響を与えているものの、原材料価格高騰分の価格転嫁や半導体供給不足の一部改善により、新車組付け用製品の販売が好調に推移しています。また、為替市場における急速な円安も当社販売および利益を押し上げる要因となっており、第2四半期会計期間および第2四半期累計期間においてはともに前年度を上回る結果となりました。この結果、前年同期と比べ当第2四半期の売上収益は18.9%アップの2,203億75百万円、営業利益は39.4%アップの507億7百万円となりました。

セラミック

売上収益 **547** 億円

営業利益 **70** 億円

自動車関連向け機械工具の出荷が回復基調であり、半導体製造装置用部品についても、汎用向けでは半導体製造装置における混乱により、需要に陰りが見られるものの、当社取り扱い製品においては世界的な半導体需要に対応する旺盛な設備投資により堅調に推移しました。

この結果、前年同期と比べ当第2四半期の売上収益は21.5%アップの547億8百万円、営業利益は102.5%アップの70億37百万円となりました。

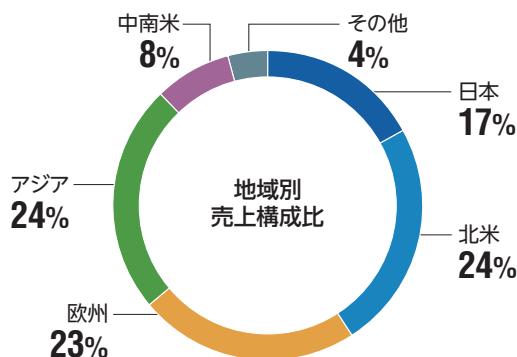
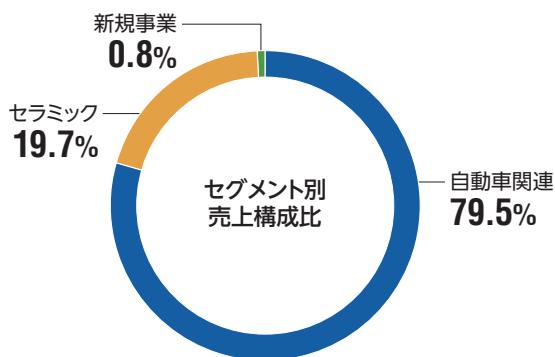
新規事業

売上収益 **22** 億円

営業損失 **63** 億円

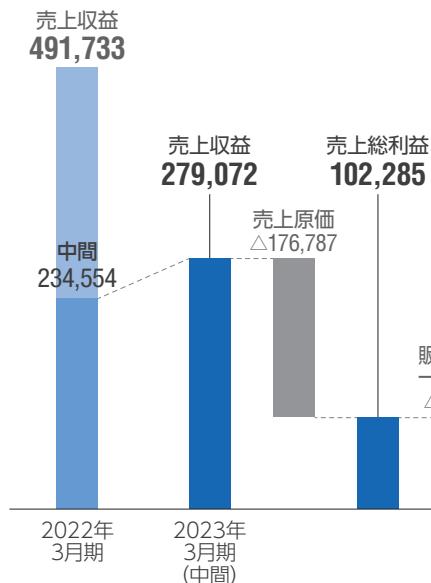
新規事業については、当第2四半期の売上収益は1.6%アップの22億27百万円、営業損失は62億68百万円（前年同期は60億74百万円の営業損失）となりました。

※他に、「その他」の区分として、売上収益26億47百万円、営業利益21億23百万円があります。 ※記載金額はすべて連結ベースで表示しております。

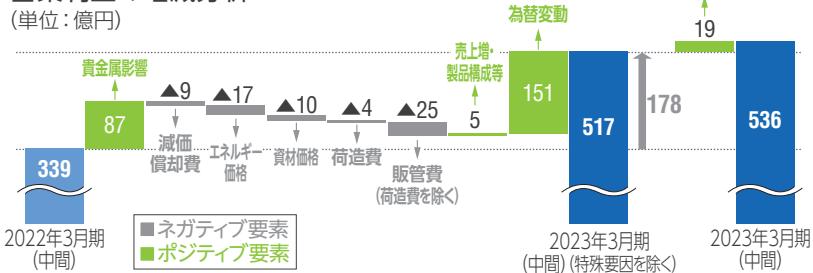


Financial Data 財務状況

連結業績ハイライト(単位:百万円)



営業利益の増減分析(単位:億円)



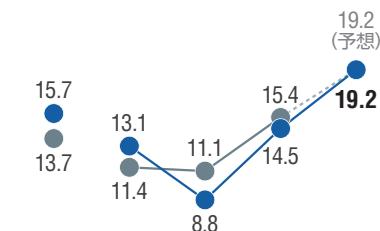
※上記グラフは非支配持分(△321百万円)の表示を省略しております。

通期予想 2023年3月期(単位:百万円)

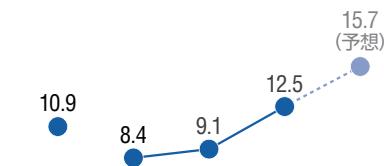
売上収益	585,800
営業利益	112,200
税引前利益	120,500
親会社の所有者に帰属する当期利益	85,000

営業利益率(単位:%)

●中間 ●期末



ROE(単位:%)



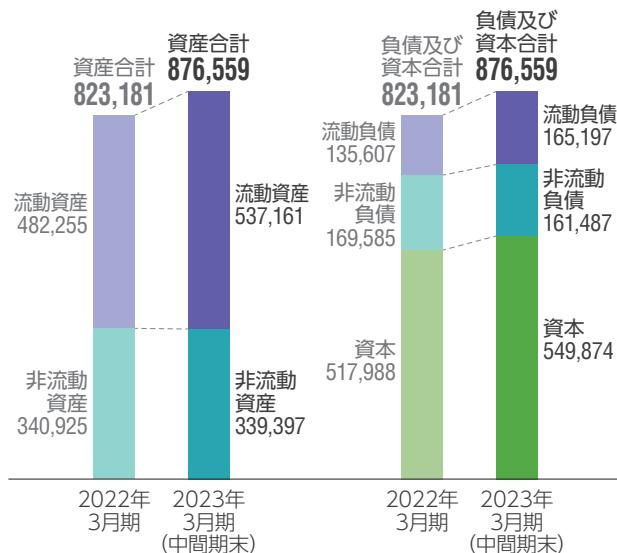
2019年3月期 2020年3月期 2021年3月期 2022年3月期 2023年3月期
日本基準 IFRS基準

2019年3月期 2020年3月期 2021年3月期 2022年3月期 2023年3月期
日本基準 IFRS基準

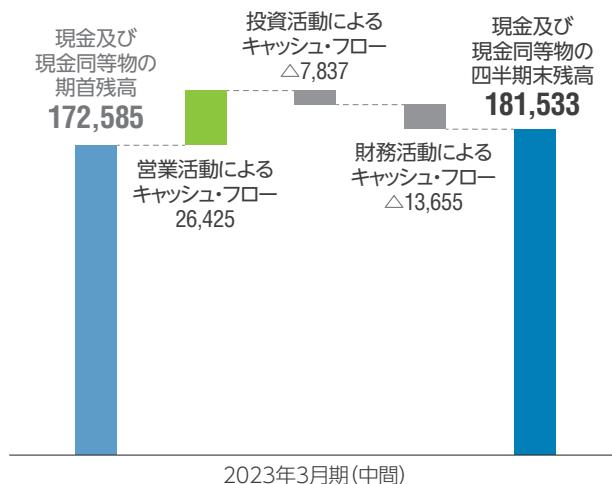
※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

詳細は当社WEBサイトの投資家情報ページでもご覧いただけます。▶ <https://www.ngkntk.co.jp/ir/index.html>

連結財政状態計算書 (単位：百万円)



連結キャッシュ・フローの概要 (単位：百万円)



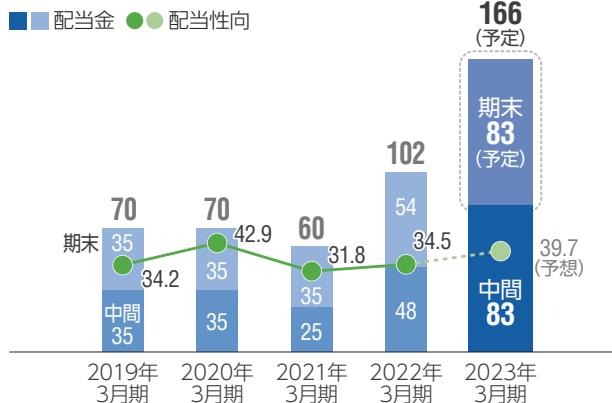
※連結キャッシュ・フローの概要は現金及び現金同等物に係る為替変動の影響額(4,015百万円)の表示を省略しております。

1株当たり純利益／

基本的1株当たり当期利益 (単位：円)



配当金 (単位：円)・配当性向 (単位：%)





新規事業創出の進捗と今後の展望

人と地球・宇宙の共生に 貢献します

代表取締役副社長 副社長執行役員 社長補佐
未来創生M&A室・研究開発本部・Business Creationカンパニー管掌

松井 徹

「2040 目指す姿」への展望として、当社の新たな事業づくりはどうあるべきか。地球を離れた宇宙空間や月面への移住が始まる未来の生活環境として、水や空気、食料、エネルギーを循環させてグリーンに保ち、廃棄物が発生しない再生循環システムの実現が考えられます。私たちは2040年の地球上の生活環境においても「再生循環システム」に近いものが導入されていると想定し、そうした環境を支え、未来社会の維持と発展に貢献する事業のあり方を設定しました。

すでに当社の技術や製品には、再生循環社会への貢献につながる要素がいくつかあります。それらを新たな視点で再評価し、進化・発展させることが今後の大きな取り組みとなります。しかし、すべてのイノベーションを独力で成し遂げることは困難であり、当社にない部分をM&Aや他社との協業を通じて補完し、シナジーを高めながら、より高度なソリューションを提供していく体制が必要です。

その取り組みとして、グローバル戦略本部内に設置した「未来創生M&A室」を通じ、事業ポートフォリオの転換に向けたM&Aを進めていきます。

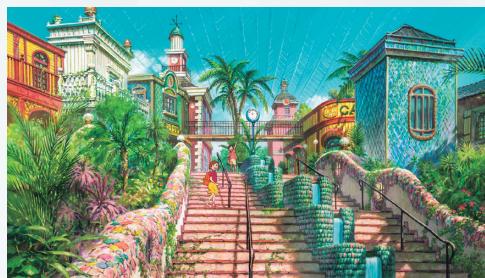
また当社では、Business Creationカンパニー（以下、BCC）が中心となり、多様な新規事業に取り組んでいます。現在のBCCは、環境・エネルギー分野、モビリティ分野、医療分野の三つを事業開発の軸としています。当社は、未来の新たな事業作りをBCCを交えてブラッシュアップし、一丸となって推進する仕組みを作り上げていく方針です。

さらに今後の展開として、コア技術のもとになる発明の創出を担う研究開発本部とBCCの連携も強化し、部門間の壁を越えた形で、相互に刺激し合いながら、新たな事業づくりにかかわる開発を進めていきたいと考えています。

私たちの変化とチャレンジにご注目いただき、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

「ジブリパーク」オフィシャルパートナー

持続可能な社会づくりへの貢献のため、愛知県の「愛・地球博記念公園（モリコロパーク）」内に開園した「ジブリパーク」のオフィシャルパートナーになりました。『私たちは、経営資源を有効に活用し、「良き企業市民」として、社会に貢献します』という社会貢献方針のもと、環境保全、文化・芸術の振興活動と地域活性化への貢献を目指します。



©Studio Ghibli

日本特殊陶業は **ジブリパーク** を応援しています。

CO₂削減目標が評価されSBT認定を取得

当社グループは、2030年度のCO₂削減目標について、SBTイニシアチブから、「Science Based Targets（科学的根拠に基づく目標）」の認定を取得しました。当社グループは、長期経営計画における環境負荷低減の長期目標として、またエコビジョン2030において、2050年のカーボンニュートラルを目指すことを前提に2030年度までにCO₂排出量30%削減（2018年度比）を掲げており、この削減目標がパリ協定の「2℃を十分に下回る水準」に適合していると認められました。これからも当社グループは、グローバルに展開するものづくり企業として、持続可能な社会の構築に寄与するため、総員参加のもと経営と一体化した環境保全活動を推進し、企業成長との両立を目指します。



SCIENCE
BASED
TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

ESG投資の世界的指数「FTSE4Good Index Series」 およびGPIF採用のESG指数に継続選定

当社グループは、世界の代表的なESG投資指数である「FTSE4Good Index Series」の構成銘柄に20年連続で選定されました。また、世界最大の公的年金の管理・運用組織である年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）が採用する5つのESG指数※すべてに選定されています。

※「FTSE Blossom Japan Index」、 「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」、 「MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数」、 「MSCI 日本株女性活躍指数（WIN）」、 および 「S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数」



FTSE4Good



FTSE Blossom
Japan

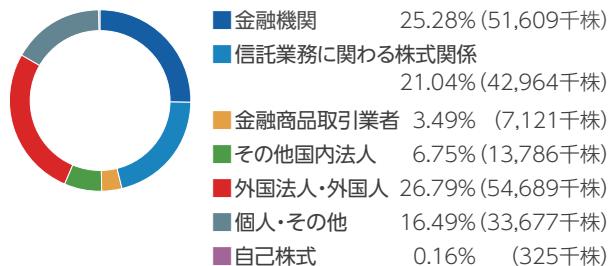
Stock Information 株式データ (2022年9月30日現在)

資本金	478億69百万円
発行可能な株式の総数	390,000,000株
発行済み株式の総数	204,175,320株
株主数	60,083名
大株主	

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	28,435	13.94
明治安田生命保険相互会社	16,794	8.23
第一生命保険株式会社	16,752	8.21
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	9,032	4.43
全国共済農業協同組合連合会	7,304	3.58
日本生命保険相互会社	3,563	1.74
TOTO株式会社	3,433	1.68
野村信託銀行株式会社(投信口)	3,201	1.57
株式会社三菱UFJ銀行	2,920	1.43
日特協力会持株会	2,733	1.34

持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

所有者別持株比率



株式に関するマイナンバーお届出のご案内

株式の税務関係の手続きには、マイナンバーの届出が必要です。まだお届出をされていない株主様におかれましては、お取引のある証券会社等へマイナンバーのお届出をお願いします。

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先
東京府都中市日鋼町1-1
TEL 0120-232-711 (通話料無料)
(郵送先)
〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上場証券取引所 東京(プライム)・名古屋(プレミアム)

公告の方法
電子公告により行います。
公告掲載URL https://www.ngkntk.co.jp/ir/public_notice/
(ただし、事故やその他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞および中日新聞に掲載いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、同行へお問い合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の全国本支店にお問い合わせください。

「統合報告書2022」を発行しました。
詳しい内容はこちらからご覧いただけます。
https://www.ngkntk.co.jp/resource/pdf/ir_integration_report_06.pdf



事業内容や財務情報の
詳細は当社WEBサイトを
ご参照ください。
<https://www.ngkntk.co.jp>

NGK NTK
スパークプラグ ニューセラミック
日本特殊陶業



UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

